

福岡県ワンヘルス認証制度について

【調査の目的】

県では、令和3年1月に「ワンヘルス推進基本条例」を制定、令和4年3月にはワンヘルス(※)の推進に関する取組を体系的に整理した「ワンヘルス推進行動計画」を策定しました。この計画に基づき、令和4年9月に、食の安全・安心や環境に配慮した取組などワンヘルスの理念に沿って生産・販売される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設したところです。

制度創設当初よりワンヘルス認証の認知度向上を目標とし、大手量販店でのフェア開催やテレビCM放映など様々な取組を行っております。

このたび、皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後のワンヘルス認証推進の参考とさせていただきます。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

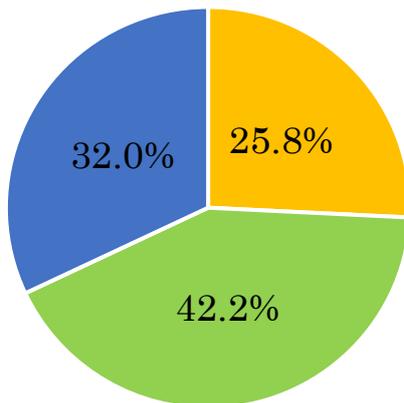
※ ワンヘルスとは

人と動物の健康と環境の健全性は相互に密接につながり、強く影響しあう1つのもので、これらの健全な状態を一体的に守っていこうという考え方。

問1 福岡県ワンヘルス認証制度について知っていますか。

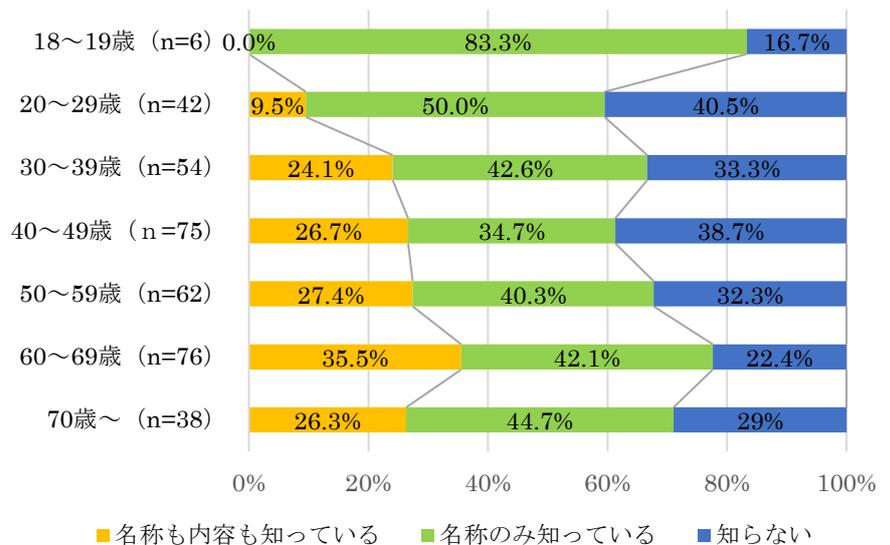
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

全体 (n=353)



- 名称も内容も知っている
- 名称のみ知っている
- 知らない

年代別

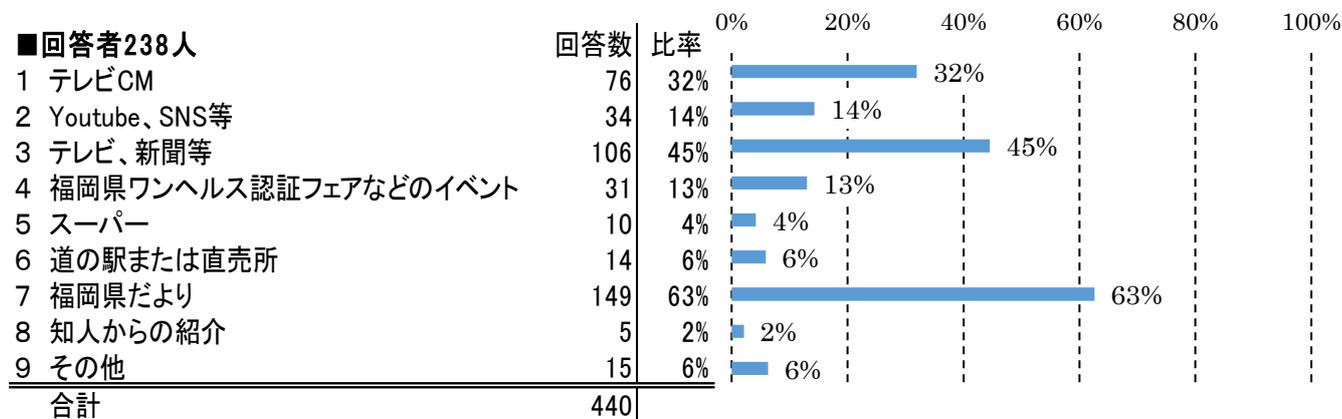


- ・福岡県ワンヘルス認証制度の認知度は、全体で68%である。
- ・18歳～19歳の認知度が最も高く、どの年代も50%を超えている。

問2 (問1で「1名称も内容も知っている」または「2名称のみ知っている」を選択された方にお尋ねします。)

ワンヘルス認証制度を知ったきっかけは何ですか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



・「福岡県だより」の割合が高いことから、ワンヘルス認証農林水産物の認知度を向上するためには広報誌等での情報発信を継続していく必要がある。

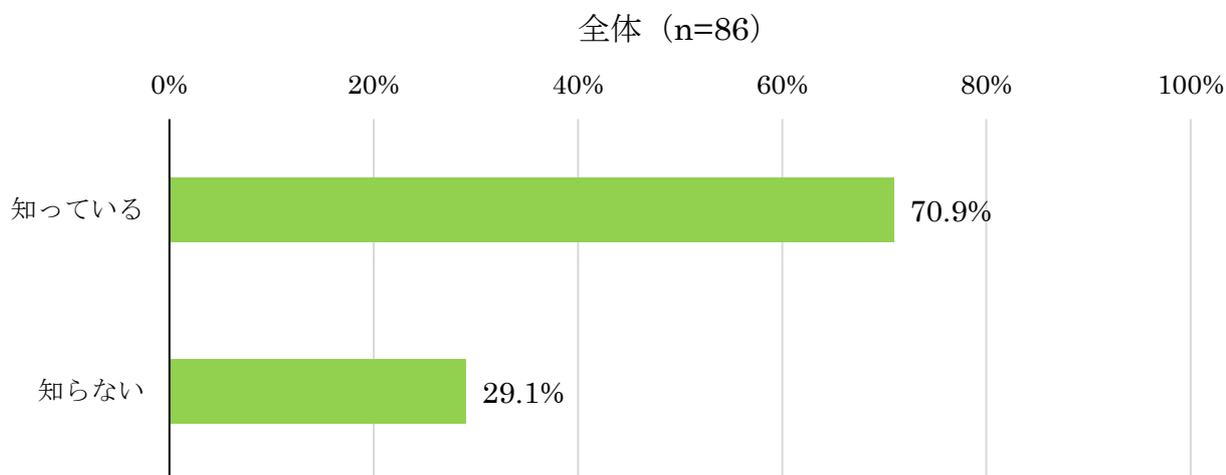
問2-2 問2で「9その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・学校での取り組みで（18～19歳、北九州地区、女性）
- ・県知事選挙（30～39歳、福岡地区、女性）
- ・会社での研修（30～39歳、福岡地区、男性）
- ・大学での講義名（18～19歳、福岡地区、女性）
- ・県政モニターに参加させて頂くことがきっかけで県の取り組みについて知る事が出来た為。（40～49歳、福岡地区、女性）
- ・市全体でワンヘルスに取り組んでいるから（40～49歳、筑後地区、女性）

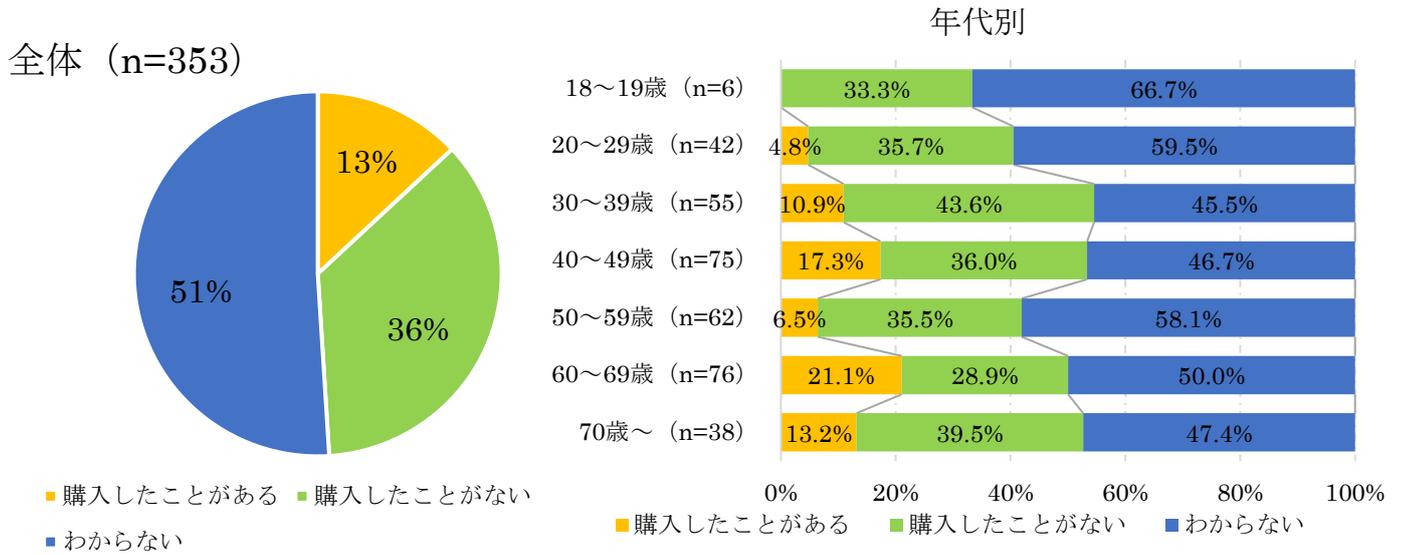
問3 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

ワンヘルス認証制度により認証された農林水産物（福岡県ワンヘルス認証農林水産物）が、食の安全・安心や環境に配慮して生産された農林水産物であることを知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

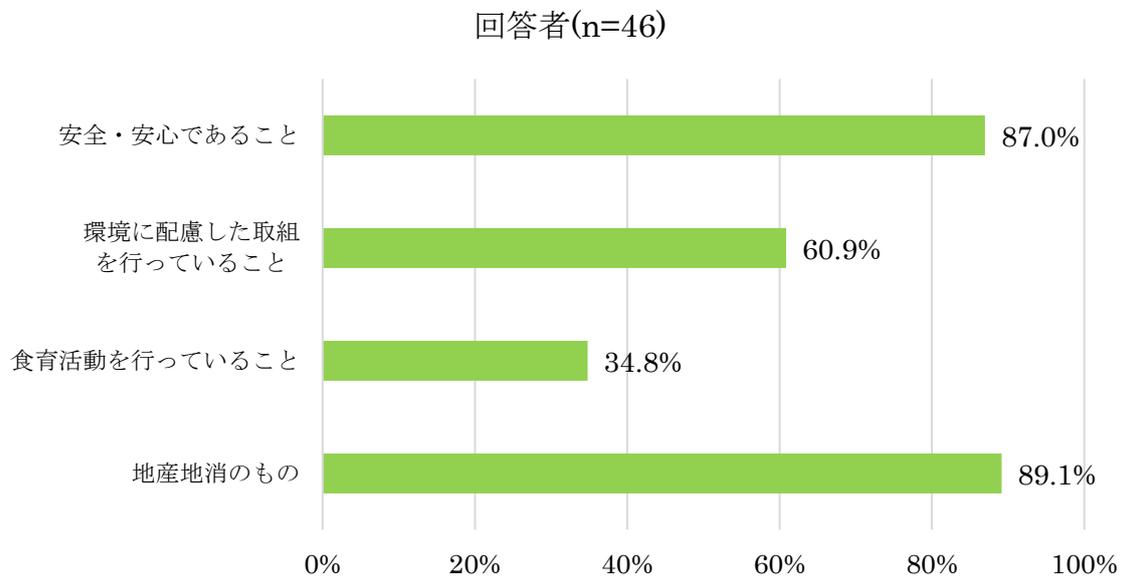


問4 これまでワンヘルス認証農林水産物を購入したことはありますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



・「購入したことがある」と回答した割合は、全体で13.0%である。

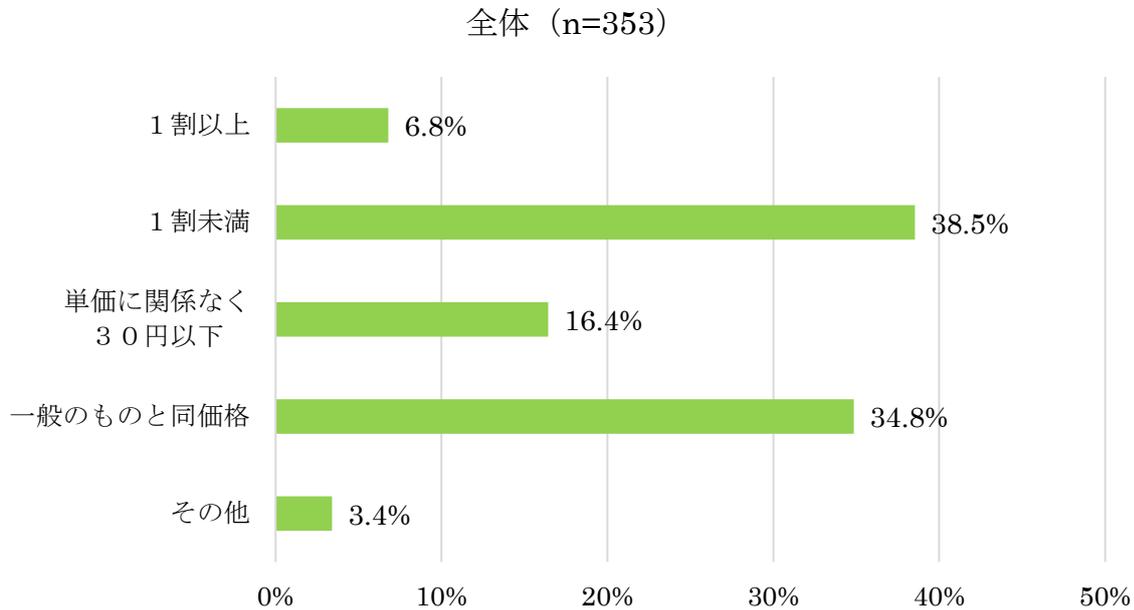
問5 (問4で「1購入したことがある」を選択された方にお尋ねします。)
ワンヘルス認証農林水産物を購入する際、重視するポイントは何ですか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



・ワンヘルス認証農林水産物を購入する際に重視する項目は、「安全・安心であること」と「地産地消のもの」が80%以上の回答であった。新鮮で安全性の高い農林水産物は、購入する際に重要視される傾向にある。また、「環境に配慮した取組を行っていること」は、60%以上で関心が高いことが分かる。

問6 ワンヘルス認証農林水産物の購入を次世代への投資と考えた場合、いくらまで価格の上乗せを許容できますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



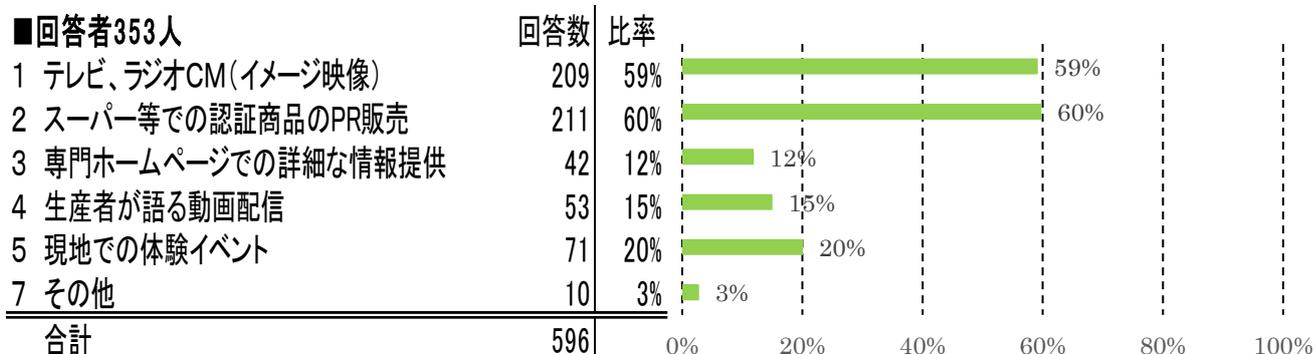
・価格上乗せができると回答した割合が61.7%と多く、次世代を見据えた際、ワンヘルス認証が付加価値を生み出す可能性を示唆している。

問6-2 問6で「5その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・ワンヘルス実施のために必要な内容や費用を理解していないため許容できる範囲を決められない。(40～49歳、福岡地区、男性)
- ・福岡ではワンヘルス認証のもの以外は販売できないくらいになることを希望します。そうすれば、認証外のものとの価格差を気にする必要がなくなります。(60～69歳、福岡地区、女性)
- ・ワンヘルス認証農林水産物に具体的にどんな付加価値があるのかがイメージできず、価格上乗せの必要性の有無もわからなかったので、回答できません。(40～49歳、筑後地区、女性)
- ・誰しもが物価高の状況で1円でも安い食材を選んでいるような状況なので、上乗せ価格をすると購買率が急落しそう。(30～39歳、筑後地区、男性)
- ・具体的にその物の価値がその値段に相応しいと納得できるならよいと思う。(30～39歳、筑後地区、その他)

問7 今後、ワンヘルス認証農林水産物のPRを通じて、福岡県の農林水産業における食の安全・安心や環境保全型農業などの取組について情報発信したいと考えております。
あなたは、どのような方法での情報発信が良いと思いますか。
次の中から当てはまるものを【2つまで】選んでください。



- ・ワンヘルス認証農林水産物の認知度向上のためには、「テレビ、ラジオCM」、「スーパー等での認証商品のPR販売」の回答は6割程度であり、今後もテレビCMの放映や福岡県ワンヘルス認証フェア開催による認知度向上対策を実施することが重要と判断できる。

問7-2 問7で「7その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・SNS等を利用した情報発信(50~59歳、北九州地区、男性)
- ・最近ではテレビよりも、TVer・YouTube・Amazonプライムなどの動画サービスを見る家庭が多いので、そこに短いCMを流すと認知が広がると思います。日常の中で自然と目に入る形で伝える方が、子育て世代にも届きやすいと感じます。(40~49歳、福岡地区、男性)
- ・わかりやすい認証マークの使用。(20~29歳、福岡地区、女性)
- ・SNS内広告(20~29歳、福岡地区、女性)
- ・テレビをみる世代が少なくなっているため、SNSをうまく活用するしかないと思う。(30~39歳、筑後地区、その他)

問8 福岡県ワンヘルス認証制度について、これまでの設問以外に意見はありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・福岡県各地で関連イベントの開催を増やすこと。(50~59歳、北九州地区、男性)
- ・ワンヘルスの言葉もスーパー等でも余り見ないので、もっと周囲に説明して下さると有り難い限りです。(40~49歳、北九州地区、女性)
- ・知らないことが多いので、身近なコンビニやスーパー等で活動を広めていくPRで啓発していく必要があると思う。(50~59歳、北九州地区、男性)
- ・健康に生きていくためには非常に良い取り組みだと思いますので、もっともっと取り組んでほしいし、作る側に伝えて欲しい。(60~69歳、北九州地区、男性)
- ・素晴らしい取り組みだと思います。(30~39歳、北九州地区、女性)
- ・ワンヘルス、名前はよく耳にするが実際に理解している人は少ないと思う。とても大事なことの

で、もっと周知させてほしい。特に主婦には関心を持ってもらいたいのでスーパー等での PR はぜひお願いしたい。(50～59歳、福岡地区、女性)

- ・スーパー等の売場に説明があるとわかりやすいと思う。(60～69歳、福岡地区、女性)
- ・正直に言うと、ワンヘルス認証制度の存在をこれまで知りませんでした。子育て中の家庭は毎日が慌ただしく、スーパーでゆっくり商品ラベルを見る余裕もあまりなく、「安全・安心」と書かれていても、その背景までは深く理解しないまま買い物をしてしまうのが実情です。だからこそ、ワンヘルス認証が“どんな良さがあるのか”を、もっと分かりやすく、生活の中に自然と届く形で伝えてもらえると、とてもありがたいです。(40～49歳、福岡地区、男性)
- ・『福岡県ワンヘルス認証制度』について初めて認識しました。『生活の基盤』となるものです。皆様のご活動を期待します。(70歳以上、福岡地区、男性)
- ・日ごろスーパーなどで、ワンヘルス認証の商品と認識して購入してはいないので、このような制度を知るためにはやはりスーパー店内での告知やアピールがとても重要であると思います。それがマークなどで示してあればなおわかりやすいと思います。(50～59歳、福岡地区、男性)
- ・ワンヘルス認証制度がいまいちわかりにくいので、もっと簡単でわかりやすい広報を行ってほしい。(30～39歳、福岡地区、男性)
- ・もっともっとPRしていただきたいと思います。最近はテレビの視聴時間が減少、我が家でも、昔みたいにつけっぱなしということはなくなりました。これからはテレビ、ラジオの媒体よりもスーパーなどの現地でもPR、SNSを活用した活動にシフトされるといいと思います。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・ワンヘルスを周知してもらえよう、啓発活動を積極的に行ってほしい。(30～39歳、福岡地区、女性)
- ・今日初めてワンヘルスマークの付いたほうれん草を買いました。ワンヘルスという言葉は目にするようになったがその理念実現のためにどういう取り組みがなされているか殆ど知る機会がないので、生産者のご意見をぜひお聞きしたいです。(50～59歳、福岡地区、女性)
- ・ワンヘルス認証制度は、「人・動物・環境の健康をまとめて守る」という考え方を広める取り組みとしてとても良い流れだと思えます。ただ、認証を取った施設や企業だけが盛り上がるのではなく、県民にもそのメリットがしっかり伝わる形になると、もっと認知度と効果が上がるのではないかと感じています。(40～49歳、福岡地区、女性)
- ・動物のイメージが強く、食品が対象と言うイメージが薄い。わかりやすいPRが必要。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・ワンヘルスの考え方や認証制度の趣旨は大変意義があると思いますが、「ワンヘルス」という言葉や認証マークの意味が、まだ十分に県民に浸透しているとは言えないと感じます。店頭で認証マークを見かけても、どのような取組が評価されているのか分からず、購入の決め手になりにくい場面があります。今後は、認証を受けた商品について、生産者の工夫や環境・健康への配慮内容を簡潔に伝える表示やPRを強化することで、理解と信頼が深まり、選ばれやすくなるのではないのでしょうか。また、価格面で一般商品との差を感じる場合もあるため、フェアや補助的な取組により、気軽に手に取れる機会が増えることを期待します。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・義務教育の中で、社会見学や生活の時間に福岡県を知る取り組み等を行い、その中でワンヘルスについて情報提供する機会があると、子供の時から知る機会となり家庭にも広がるきっかけとなるのではと思いました。(30～39歳、福岡地区、女性)
- ・私自身はテレビCMで紹介してほしいと思いますが、最近はテレビを見ない人も多いので、実際に商品を目にし購入するスーパーや道の駅などで、もっと情報発信や認証商品のPR活動をするのが良いかと思っています。(60～69歳、筑後地区、女性)